

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援 ありんこるーむ芦北		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 15日	～	令和8年 1月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 1日	～	令和8年 2月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 27日		

○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	親子療育を通して、保護者と一緒に支援方法を考えられる	保護者と話す時間や記録の時間を設けている できていること、伸びていること、そうなるためにどのような支援をしているかを伝えるようにしている	親子のできる活動を取り入れて、成長を身近に感じてもらう 活動の目的や、関わり方を具体的に伝えていく
2	1対1で個別課題に取り組む時間がある	利用児の発達段階を確認し、興味のある物を取り入れた課題を提供することで、楽しく取り組めるようにしている	課題(道具や教材)の見直しを行い、より充実した活動にする
3	就学前に向けたスクール形式の療育	就学後に不安が少なくなるよう、学校で使う用語を意識して使い、メリハリをつけて活動するようにしている	小集団を意識しながらも、個々の課題が目標達成できるよう、活動に取り入れていく

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動が似たような内容になってしまう	道具操作や手先操作が主体となっている	音や体、言語など幅を広げて取り入れていく
2	就学前の体育(運動遊び)の内容がうすい	利用児の運動能力に合わせすぎて内容を広げられていない	外に出て取り組んだり、道具を作ったりして内容を濃くする
3	製作の機会があまり設けられていない	製作するスタッフの担当が曖昧	製作するスタッフの担当月を決める

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援 ありんこーむ 戸北

公表日 令和 8 年 4 月 2日

利用児童数 7

回収数 7

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7				・座学時は机に仕切りがあり、運動時ものびのびできるスペースがある	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	6	1				
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7				・運動する部屋、トイレ、勉強部屋、子どもにシンプルで分かりやすい。トイレもバリアフリー化している。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7				・各部屋子どもに合わせた空間になっている	
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6	1			・子どもの状況をみて特性に合った支援になっている	・子どもの発達段階と、その日の状態に合った支援に取り組んでいます
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7				・支援内容にあっている	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7				・毎回子どもにあった計画が作成されている	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7				・毎週の療育支援、モニタリング等による情報共有、家族支援、今後学校にあがるまでの具体的な一年間の流れがわかるものをいただいている。設定されたい	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7				・できている	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7				・工夫できている	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4	3				・日ごろ園に通っているため、特別に設けてはいません
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7				・利用する際に説明を受けた	
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6	1				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7				・行われている	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	7				・ライン、電話等を通じて情報共有できている	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7				・親子療育の時に相談することがある	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7				・連絡帳を通じて共感的に支援が受けられていると実感できている	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7					
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7				・子どもについての相談にいつも迅速に対応してもらっている	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6	1		・連絡帳、ラインを通じて情報伝達をして、そのための配慮はできていると思う	・必要に応じて、電話やラインを使用し、お伝えしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7			・ホームページ等を定期的に確認している。発信できていると思う	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6	1		・ホームページ等情報の扱いに留意していると思う	・事前にアンケートで掲載許可等を確認していますが、定期的にアンケートを取って行こうと思っています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4	3			・マニュアルは玄関に置いてあります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4		3		・年に4回、放デイや年長児を中心に訓練をしています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6	1		・行われていると思う	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4		3		・事故やケガのないよう心掛けてはいますが、もし発生した場合は、速やかに保護者に連絡し、病院受診に付き添います。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	6	1		・療育日は楽しそうにしている ・子ども自身の不調の時以外は安心して行けている	・安心、安全に、何より楽しく過ごせるよう、配慮していきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	6	1		・療育リュックを持ってくる時があるので楽しみなのだと思う ・子どもの気分次第で変わる事がある	・安心、安全に、何より楽しく過ごせるよう、配慮していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	6	1		・満足している	・安心、安全に、何より楽しく過ごせるよう、配慮していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援 ありん こるーむ戸北		公表日	令和8年 4月 2日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制 整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○				
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○				
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・玄関などバリアフリーではありませんが、必要に応じて踏み台などを使用しています。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・活動に合わせて、ブレイルーム（動）やワークルーム（静）を使用しています。		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・クールダウンするためのスペースを確保しています。		
業務 改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		ミーティングの時間を必ず設け、スタッフ間で情報共有し改善につなげるようにしています。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○			
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・定期的に研修を行っています。	・現在の事業所の学びたいことや困りに合った研修内容を取り入れていきたいと思っています。	
適切 な 支 援 の 提 供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○				
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・モニタリング会議等で出た、保護者や園の思いも考慮し、計画を立てています。		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・事業所内でのモニタリング会議を行い、職員の意見を計画に取り入れています。		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			・より充実した支援につなげるため、見える化したいと思います。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○			
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・療育の活動の中で支援ができ、目標達成ができる内容を心がけています。		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・毎回職員で話し合い、こども達の様子に合った活動を考えています。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・基本的な流れは変えず、内容に変化をつけることを意識しています。		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・個別の机上課題、運動遊びやルール遊びの集団活動を必ず行うため、意識して計画に取り入れています。		
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・毎朝ミーティングの中で行っています。		

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・「できた」「できなかった」だけでなく、その原因と次からの対応を話し合っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・話し合った内容は記録に残し、見直しながら次の支援を考えています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・「できる」「できない」だけでなく、その原因を考え、達成できる目標と今後の支援方法を話し合っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・モニタリング会議や日々の送迎時を利用し、情報共有しています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・保護者と一緒に学校見学を行います。 ・サポートブックの作成、入学式直前の連絡会にも参加し、情報共有しています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		・定期的な会議にも参加しています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・親子療育時に、話ができる時間を設けています。また、気になることがあれば、連絡帳やラインで連絡を取り合っています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・毎月の親子療育、保護者会の中で研修や情報提供をしています。	・活動の目的や、関わり方、家庭で取り組める内容を伝えていきたいと思います。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・モニタリング会議の中で出た、保護者・本人の思いを、取り入れるよう心掛けています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・モニタリング会議時にも、現状や次のステップを伝えるようにしています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・相談等あれば、できるだけ来所していただいています。電話での対応も行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・参加しやすい時間帯や、希望の内容などアンケートを取り、開催しています。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・こどもと個別に話せる時間を作ったり、保護者に来所していただき、話せるよう、対応しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		主にインスタグラムや、ラインを使ってお知らせしています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			・事前にアンケートで掲載許可等を確認していますが、定期的にアンケートを取って行こうと思っています。

	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>		できるだけわかりやすい言葉を使用したり、後で見かせるようなツールを使用するようにしています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		・こちらから地域に出向く機会を作りたいと考えています。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>		確認しています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>		確認しています。	現在対象の児がいないこと、食事を摂る機会もないので、必要に応じて考えていきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		・発生時だけでなく、日頃から、予測できる事例について、事故やケガにつながらないような対策を検討しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	<input type="radio"/>			